

中川運河にぎわいゾーン にぎわい創生プロジェクト（概要）

にぎわい創生プロジェクトの位置づけ

平成 39 年のリニア中央新幹線の開業を意識しつつ、ささしまライブ 24 地区のまちびらきの時期を捉え、ささしまと隣接する「にぎわいゾーン」に着目し、中川運河再生計画に掲げられた空間計画を具現化するために、導入すべき機能や施策を取りまとめたもの。

にぎわいゾーンの課題と対応方針

課題 1：まちづくりの方向性が見えていない

→にぎわい創生のイメージなど、将来の開発イメージを明らかにします

課題 2：港湾関連施設中心の土地利用で、訪れたい施設が少ない

→魅力的な拠点の形成に向け、導入すべき機能や施策を明らかにします

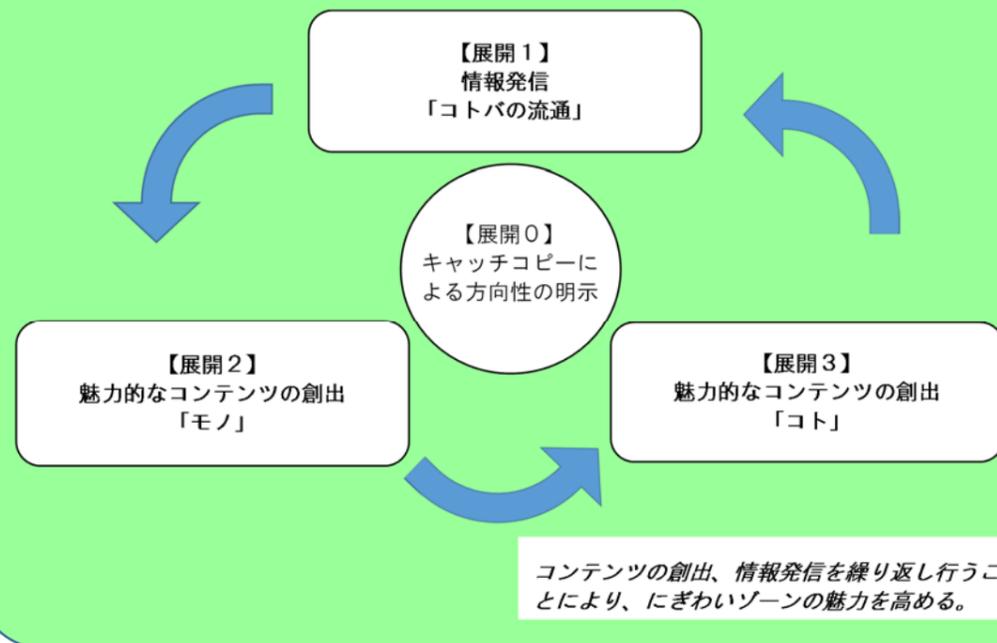
課題 3：水辺空間でありながら、親水性に欠けている

→親水性を高めるために、導入すべき機能や施策を明らかにします

課題 4：イメージが良くない

→PR戦略を策定し、魅力発信に取り組みます

PR戦略の策定



将来の開発イメージ

にぎわい創生のイメージ

STEP-1 概ね 5 年後（ささしま区画整理事業完了時）
「ささしまから小栗橋、露橋水処理センターにかけていくつかの拠点（オープンなアトリエ、個性的な飲食店）が立地し、人の流れが感じられる状態」

STEP-2 概ね 10 年後（リニア中央新幹線開業時）
「ささしまから松重閘門公園にかけて多くの拠点が立地するとともに、周辺から運河を眺めることができるようになり、人の流れや憩う人が多く見られる状態」

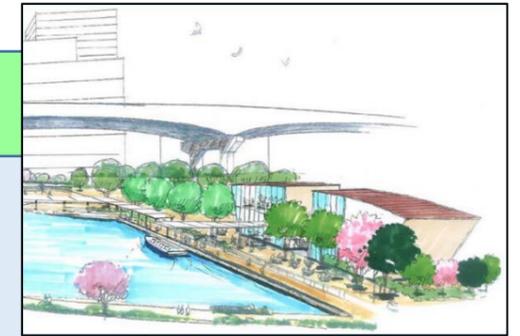
導入機能のイメージ

- <キーワード>
- 【1】民間開発の誘導
 - 【2】規制緩和
 - 【3】回遊性の向上
 - 【4】アクセスの確保
 - 【5】緑地等での PPP

導入すべき機能や施策

にぎわい拠点づくり 3大プロジェクト

- 堀止東側の市有地でのエリア拠点づくり
- 沿岸用地の規制緩和による回遊拠点づくり
- エリアマネジメントによる公園等へのイベント拠点づくり



行政が導入する機能・施策（ハード施策）

- 散策路・ジョギングコース整備の事業化
- 北支線・東支線における空地の確保
- 沿岸用地などへの駐車場の設置
- 水質改善 ○水上交通の活性化



開発イメージの実現に向けた民間支援策（ソフト施策）

- 狭小な土地も対象とした沿岸用地公募
- 行政主導での倉庫のリニューアル、利用者公募の社会実験
- 緑地等への PPP 等によるカフェやレストランの誘致
- 芸術活動の拠点整備 ○ARToC10